

○石狩地区地域防災施設【川の博物館】（石狩市）



（施設概要）

- ・身近な川への理解を深めてもらうため、資料や視聴覚機器などを展示、川と地域との関わりや歴史、治水事業などを楽しみながら学習できます。
- ・写真パネルや各種展示物、ビデオシアター、ゲーム・クイズコーナーなど、身近な川をわかりやすく紹介します。
- ・施設の2階が展示スペースです。

（見学箇所）

石狩川と治水の歴史ゾーン
ものしり体験ゾーン
資料閲覧ゾーン 川の学習ゾーン
土木遺産・休憩ゾーン

（見学時間）

5月～11月 午前10時～午後3時
30分～1時間程度

（見学目安人数）

1枠あたり10人/班×1回*最大30人
（ただし、見学内容・時間は要調整）

（施設までのアクセス）

札幌駅から車で約40分
住所：北海道石狩市新港南1丁目28-24



○石狩地区地域防災施設【川の博物館】（石狩市）

【駐車場・その他施設】

- ・駐車場： 7台（身障者用1台）
- ・トイレ：あり（一般用1室、身障者用1室）
- ・エレベーター：あり（10人用）
- ・展望室：茨戸川、石狩放水路を展望

【位置図】



【オススメポイント(周辺の観光スポットなど)】

- ・川の博物館の構内には、土木学会選奨土木遺産である北海道初の全溶接橋「旧運河橋」や昔の治水工事で海外でも使用された、現在の連節護岸の礎となる世界初の鉄筋コンクリート製「岡崎式単床ブロック」が展示されています。
- ・施設近傍の石狩川生振（おやふる）捷水路も、土木学会選奨土木遺産に選定されています。
- ・マクンベツ湿原：石狩川の最下流の蛇行部に広がる約130haの湿原で、道内屈指のミズバショウ群落で有名です。
- ・はまなすの丘公園：1,500mに及ぶ砂嘴（さし）の上であり、海浜植物や石狩灯台・夕日など、写真映えする景色が豊富です。

【注意事項】

- ・見学には、事前予約が必要です。
- ・夏季（7月下旬～8月中旬）のみ、事前予約不要で土日祝含む一般開放期間を設けることがあり、札幌河川事務所ホームページでお知らせします。



施設概要



治水に挑み続けた 先人達の定跡。 石狩川と治水の歴史ゾーン

治水事業の歩みを、年表や写真などで分かりやすく揭示しています。



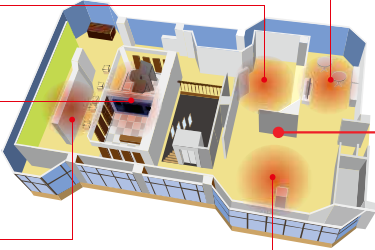
土木学会選奨土木遺産 を紹介。 土木遺産・休憩ゾーン

土木遺産の認定プレートや写真を紹介しています。また、休憩スポットとして茨戸川を見渡せます。



楽しく学んで 川の博士をめざそう。 ものしり体験ゾーン

川や治水に関するクイズとゲームに挑戦。川の冒険シアターも楽しめます。



石狩川治水の祖の 功績を辿る。 資料閲覧ゾーン

石狩川治水事務所初代所長の岡崎文吉の功績や当時の工事機具などを紹介。



洪水を起こす恐れ川から 安心の川へ。 川の学習ゾーン

洪水の歴史から治水対策、川の利用の一連の流れをパネル展示しています。



土木遺産プレート



土木学会選奨土木遺産



石狩川下流域の大地図

屋外展示物



岡崎式単床ブロック
(2015年度 土木学会選奨土木遺産)

石狩川治水の祖、岡崎文吉が考案し、明治～大正時代の北海道開発および海外でも貢献した自然の河道を生かす護岸ブロックです。



旧運河橋
(2019年度 土木学会選奨土木遺産)

昭和初期、全溶接という新技術で鋼材の節約や軽量化、美観の向上を実現した、北海道で最古・国内でも最初期の全溶接単純鋼桁橋です。